

全き救いがもたらされた

(ヘブル10:1~10)

一、旧約と新約

聖書に旧約と新約があるのは、ご存じのことと思います。「旧約(旧契約)」という呼び方は、キリスト教会の言い方です。新約聖書の中に「聖書」という言葉が何回も現れますが、1世紀の時代に「聖書」と言えば、私たちが旧約聖書と呼んでいる書を指しました。新改訳2017ですと、51回現れます。元の聖書には、どのような言葉が使われているのでしょうか。「グラフエー」です。すなわち、書物のことです。ところが、この言葉が新約聖書で使われる時は、旧約の書を指して使われています。

「聖書」という言葉には、それ以外の書とは異なる特別な書という意味があります。どのように、特別なのでしょうか。基準という意味においてです。私たちが神を信じ、神のお考えを知ろうとする際に、何が神の御思いであるかを判断する基準が必要です。それが、聖書です。そういうわけで、聖書に収められている書を正典と言います。別の言い方ではカノン(キャンオン)で、物差しという意味です。

二、律法は救いをもたらさない

ヘブル人への手紙10章1節、2節をご覧ください。〈律法には来たるべき良きものの影はあっても、その実物はありません。ですから律法は、年ごとに絶えず献げられる同じいけにえによって神に近づく人々を、完全にすることができません。それができたのなら、礼拝する人たちは一度できよめられて、もはや罪を意識することがなくなるので、いけにえを献げることは終わったはずです。〉とあります。

神のなさることはスケールが大きいです。人が考えた教えではなく、神が考えられたことですから、当然と言えば当然です。主なる神は、アブラハムというひとりの人を選び、アブラハムの子孫からイスラエルを興し、イスラエルの中からモーセを立て、モーセを介してイスラエルと契約を結ばれました。

主はイスラエルに御自身を現され、イスラエルを聖別されました。それが、継続されるために、罪が赦され、神に近づく道を示されました。レビ記の中に詳しく記されていますが、人間が犯した罪の身代わりに、神が示された特定の動物(雄牛と雄やぎ他)を犠牲としてさげるという方法でした。

ですが、それは不完全なものでした。3節、4節をご覧ください。〈ところがむしろ、これらのいけにえによって罪が年ごとに思い出されるのです。雄牛と雄

やぎの血は罪を除くことができなからず。〉とあります。なぜ、神は不完全な教えを教えられたのでしょうか。キリストによる救いを指し示すためでした。

三、全き救いがもたらされた

では、神が備えられた、人間の罪が赦されるためのいけにえは、何だったのでしょうか。御子であるイエス・キリストです。5節から7節をご覧ください。

〈ですからキリストは、この世界に来てこう言われました。「あなたは、いけにえやささげ物をお求めにならないで、わたしに、からだを備えてくださいました。全焼のささげ物や罪のきよめのささげ物をあなたは、お喜びにはなりませんでした。そのとき、わたしは申しました。『今、わたしはここに来ております。巻物の書にわたしのことが書いてあります。神よ、あなたのみこころを行うために。』〉と、詩篇からの引用の言葉が記されています。動物の犠牲は、人の罪を除くことができないため、神が備えられたのは、御子であるキリストでした。

5節の終わりにある〈わたしに、からだを備えてくださいました。〉は、御子であるキリストを指しています。こうして、キリストは自ら進んで、いけにえとなられました。10節をご覧ください。〈このみこころにしたがって、イエス・キリストのからだは、ただ一度だけ献げ

られたことにより、私たちは聖なるものとされています。〉とあります。

聖書が語っている福音に立てば、私たちが行った業によってではなく、神がなさった業によって、罪という、神と罪人である私たちを隔っていた問題が解決されたことを知ります。そういうわけで、イエス・キリストを信じれば、罪の問題は解決されています。

たとえば、「私なんかは生まれてこなかった方が良かった」と思うとき、ヘブ2:10実に、私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあつて造られたのです。〉という主のみこころを知って、思いが変えられます。

あるいは、「私の罪は赦されない」と思うとき、〈Iヨハネ1:9もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。〉という主のみこころを知って、思いが変えられます。もちろん、犯罪を犯していた場合は、法の下に裁判を受けて償いしなければなりません。ですが、聖なる神の前には、キリストのゆえに赦されています。

などなど、いくらでも続きます。これが、罪から救われている者の姿です。イエス・キリストを信じるなら救われます。